（課題名）低侵襲肺切除手術における術後急性期疼痛・遷延性疼痛に関与する因子の検討について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】
当院の呼吸器外科ではロボット支援下手術や胸腔鏡補助下手術など低侵襲手術が主な術式となっています。肺を切除する手術の後では痛みが強く、また慢性痛・遷延性疼痛といって神経が関与する長期の痛みに苦しむ場合も多くあると言われてきましたが、その根拠は手術が低侵襲化する前のデータを多く含みます。
そこで私たちは低侵襲肺切除手術においてどれぐらいの方が、あるいはどういった方が痛みが強く長期化するのかを調べることといたしました。

【対象】
2018 年 1 月 1 日以降に当院呼吸器外科でロボット支援下あるいは胸腔鏡補助下に肺の切除手術を受けた方が対象になります。2022 年 12 月 31 日までに手術を受ける方についてもデータ収集を行う予定です。手術前から別の理由で痛み止めを必要としていた方、肺の手術後 3 か月以内に別の手術を受けられた方、認知機能が障害されているなどの理由で長期の痛みを正しく評価できない場合は対象外といたします。

【調査項目】
手術当日・翌日の疼痛の有無、鎮痛薬の使用状況
手術後 3 ヵ月、6 か月時点での疼痛の有無ならびに鎮痛薬の処方状況
手術方法、手術時間、抗がん剤や放射線治療の有無など手術と治療に関するデータ
併存疾患や身長、体重といった健康面の基本情報
使用した麻酔薬、術後鎮痛法などの麻酔に関する記録

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】
承認日から 2023 年　6 月　30 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】
関西労災病院麻酔科

【研究代表者】
興津　賢太
関西労災病院　麻酔科
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL: 06-6416-1221（代表）
FAX: 06-6419-1870（代表）
E-mail： Okitsu-kenta@kansaih.johas.go.jp